★★ 平成２７年５月１日　発行　一般社団法人　東京都建築士事務所協会　監修　東京都建築構造行政連絡会

鉄 骨 構 造 標 準 図（２）

※修正箇所は下線を引くこと

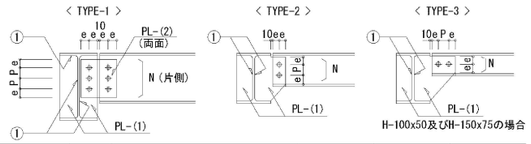
３．継手規準図，その他

（１）高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ (P)　ボルト穴径・最小縁端距離　(mm)

呼び径 d		ボルト穴径	最小縁端距離 (e) (1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	ピッチ (P) 最小	標準
高力ボルト	M16	18	40	28	22	40	40	60
	M20	22	50	34	26	40	50	60
	M22	24	55	38	28	40	55	60
	M24	26	60	44	32	45	60	70
アンカーボルト・ボルト	M16	21 (16.5)		28	22	(40)	(40)	(60)
	M20	25 (20.5)		34	26	(40)	(50)	(60)
	M22	27 (22.5)		38	28	(40)	(55)	(60)
	M24	29 (24.5)		44	32	(45)	(60)	(70)
	M27	32		49	36			
	M30	35		54	40			
	M30を超える	呼び径＋5		9d/5	4d/3			

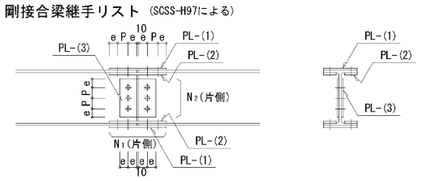
〔注〕(1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離。
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の縁端距離。
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の縁端距離。

（２）ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部　材	PL-(1)	PL-(2)	N - 径
	3	H－125・60・6・8	6		2－M16
	3	H－150・75・5・7	6		2－M16
	2	H－175・90・5・8	6		2－M16
	2	H－200・100・5.5・8	6		2－M16
	2	H－250・125・6・9	6		3－M16
	2	H－300・150・6.5・9	9		3－M20
	2	H－350・175・7・11	9		4－M20
	1	H－350・175・7・11	9	6	4－M20
	2	H－400・200・8・13	9		5－M20
	1	H－400・200・8・13	9	9	4－M20

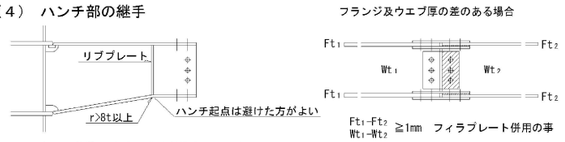
（３）剛接合梁継ハリスト　(SCSS-H97による)



〔注〕端部をBHとする場合の部材は設計図による。

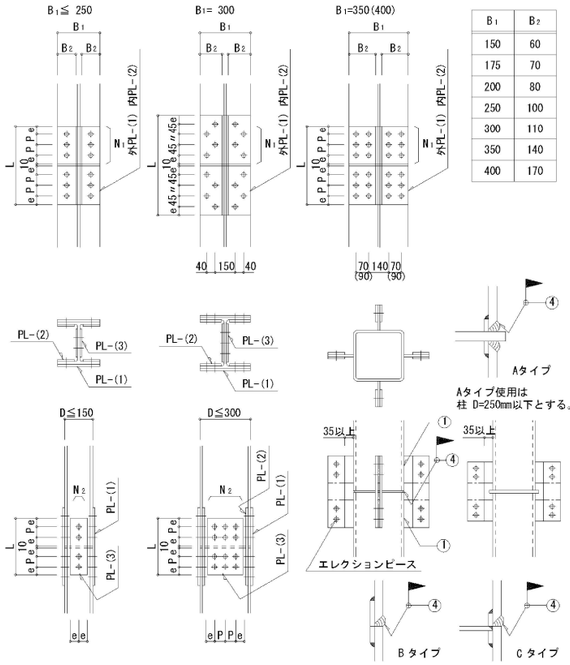
符 号	部　材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N₁- 径	ウエブ PL-(3)	N₂- 径

（４）　ハンチ部の継手



ハンチ勾配は普通1:4程度であるが構造図による。
r：半径　t：板厚

（５）柱継手リスト



B₁	B₂
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注）現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う。

符 号	部　材	フランジ PL-(1)	PL-(2)	N₁- 径	ウエブ PL-(3)	N₂- 径

（６）ターンバックルブレース　(JIS規格品とする ･･･ JIS A 5540 ･･･ 2008 / 5541 ･･･ 2008)

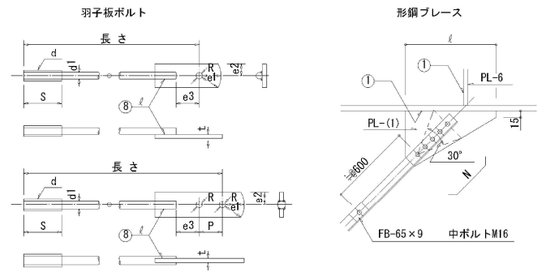
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 dl	最大		10.83	12.66	14.66	16.33	18.33	20.33	22.00
	最小		10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.07	21.69
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付けボルト穴径 許容差 +0，-0.5 mm		R	17.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき(最小)	(2)	e1	40	40	45	50	50	55	50
切板製 へりあき(最小)	(1)	e2	28	28	28	34	34	38	38
切板製 板　厚		t	6	6	6	9	9	9	9
平鋼製 へりあき(最小)	(1)	e2	25.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5
平鋼製 板　厚		t	6	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト穴芯のあき (最小)		e3	52	52	59	66	66	73	70
溶接長さ(最小)		W	40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付ボルト	種　類		JIS B 1186　2種高力ボルト(F10T)　(3)						
	ねじの呼び		M16	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本　数		1	1	1	1	1	1	2

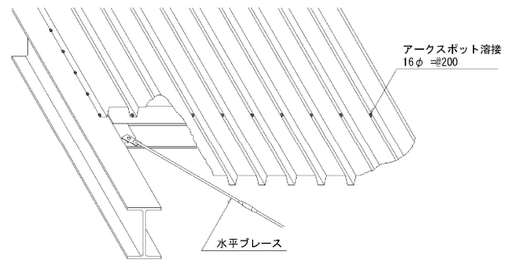
〔注〕(1) e1,e2が確保されてれば形状は自由でよい。
(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする。
(3) 溶融亜鉛めっき製品では、JIS B 1186 に規定する 1 種 F8TAに準じるものを使用する。

(b) 形鋼ブレース

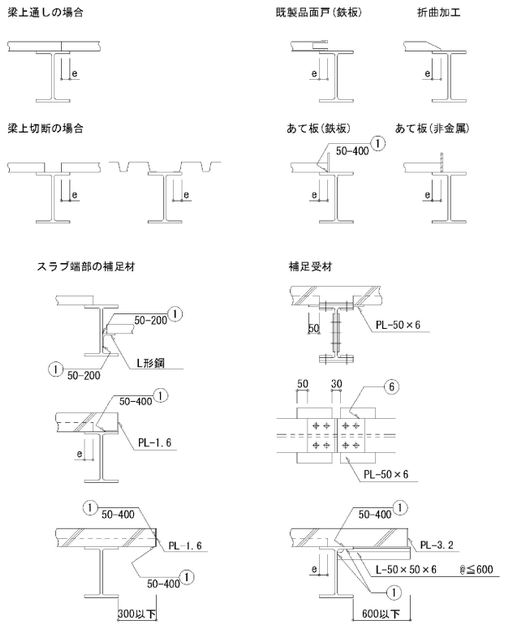
符 号	部　材	PL-(1)	N - 径	ℓ



（７）デッキプレート（床剛性を考慮する合成床，合成梁のときは構造図参照）

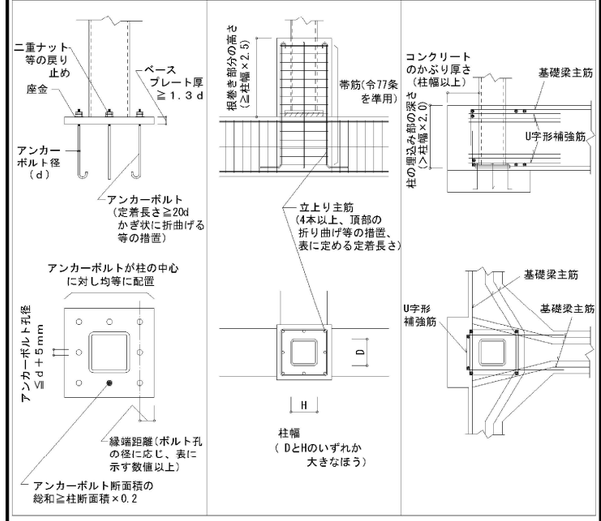


受梁へのかかり寸法及端部処理　　e ： 長手方向で50mm以上、幅方向で30mm以上とする。
且つ、各メーカーの仕様による。



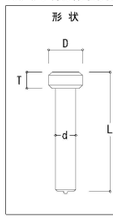
（８）柱脚

注）許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式
※ 構造用アンカーボルトは原則としてJIS B 1220, JIS B 1221を使用する。



（９）頭付きスタッド（ JIS B 1198 - 2011 ）

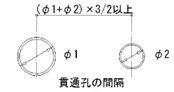
スタッド材の標準形状・寸法

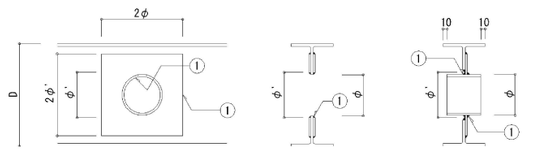


スタッド材 呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm	呼び長さ L mm
φ13 mm	13	25	8	□80　□100　□120　□
φ16 mm	16	29	8	□80　□100　□120　□
φ19 mm	19	32	10	□80　□100　□120　□150　□
φ22 mm	22	35	10	□80　□100　□120　□150　□
φ25 mm	25	41	12	□120　□150　□170　□

（10）梁貫通補強

・計算で確認された場合は下図の位置，寸法及び補強方法によらなくて良い。
・梁端部（内法スパン ℓ_0 の1/10以内かつ、2D以内）は避ける。
・$\phi \leqq 0.4D$
・ϕ' は補強板の穴径を示す。





プレート補強の板厚

スリーブ径	補　強　板
$\phi \leqq 0.15D$	補強板不要
$\phi \leqq D/4$	Web板厚以上（片面）
$\phi \leqq D/3$	Web板厚x1.2倍以上（片面）
$\phi \leqq 0.4D$	Web板厚以上（両面）

(株) 創 夢 建 築 設 計
1級建築士登録 第146135号　服　部　吉　博

CHECKED BY	DESIGNED BY	DRAWN BY	SCALE
			DATE 平成　年　月　日

CONSTRUCTION NAME　姫路　夢前農場改築工事
PLAN NAME　鉄骨構造標準図（２）
No. 56
R04-126

FILE NAME　X:¥DETABASE¥R04-126　姫路夢前農場¥図面¥00　実施設計¥建築工事¥50～78　構造¥56　鉄骨標準図(2).jw¥PRINT OUT　令 和 7 年　2 月　6 日